



平成22年11月1日

各 位

上場会社名 ハリマ化成株式会社
 代表者 代表取締役社長 長谷川 吉弘
 (コード番号 4410)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 金城 照夫
 (TEL 06-6201-2461)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,800	800	960	530	20.42
今回発表予想(B)	20,050	1,150	1,150	440	16.95
増減額(B-A)	2,250	350	190	△90	
増減率(%)	12.6	43.8	19.8	△17.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	15,434	532	610	230	8.89

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,500	1,700	2,000	1,100	42.38
今回発表予想(B)	39,500	2,200	2,200	1,000	38.53
増減額(B-A)	3,000	500	200	△100	
増減率(%)	8.2	29.4	10.0	△9.1	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	33,495	1,334	1,596	951	36.66

修正の理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新興国の経済成長や政府の景気刺激策に支えられ、緩やかな回復基調となりました。しかし、第2四半期後半は、円高の進行による企業業績の下振れ懸念や長びく雇用情勢の低迷など、依然として不透明感が払拭されない状況となっております。

当社グループの関連する業界であります、印刷インキ・塗料・合成ゴム・製紙・自動車・電機業界におきましても、一部、回復傾向が見られるものの、先行き不透明感が払拭されない状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、売上高につきましては、一部に当初の予想以上の回復が見られ、当初の予想を上回る見込みとなりました。また、利益面につきましては、経費削減や収益改善に努めました結果、営業利益、経常利益とも当初の予想を上回る見込みとなりました。

また、特別損失として、有価証券評価損を計上するため、当期純利益は、当初の予想を下回る見込みとなりました。

第2四半期累計期間、通期とも同様の理由となっております。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上